

横浜市大気汚染調査報告書

第62報

(令和3年度－2021)

横浜市環境創造局

はじめに

この報告書は、令和3年度に行った大気汚染物質等の常時監視測定、ダイオキシン類やベンゼンなど有害大気汚染物質測定、空間放射線量測定の調査結果をとりまとめたものです。

令和4年3月現在、本市の常時監視体制は、一般環境大気測定局20局、自動車排出ガス測定局8局となっております。

有害大気汚染物質については、ダイオキシン類を6地点で年2回（夏季、冬季）、その他の物質を3地点で年12回（毎月）の定期測定を実施しています。

この報告書を、大気汚染対策をはじめ広い分野で御活用いただければ幸いです。

【目次】

第1章 常時監視測定局における測定概要

1 監視測定体制	1
2 常時監視測定値の取扱い及び評価方法	6
3 常時監視項目の測定方法	6

第2章 令和3年度大気汚染の状況

1 常時監視測定結果	7
(1)大気環境の概要	7
(2)二酸化硫黄 (SO ₂)	7
(3)一酸化炭素 (CO)	8
(4)浮遊粒子状物質 (SPM)	9
(5)二酸化窒素 (NO ₂)	9
(6)光化学オキシダント(O _x)	10
(7)微小粒子状物質 (PM2.5)	11
2 有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定結果	11

第3章 空間放射線測定結果

【資料編】

1 大気汚染の測定内容	13
2 常時監視測定結果	15
(1)二酸化硫黄 (SO ₂)	17
(2)一酸化炭素 (CO)	17
(3)浮遊粒子状物質 (SPM)	19
(4)二酸化窒素 (NO ₂)	22
(5)光化学オキシダント (O _x)	25
(6)微小粒子状物質 (PM2.5)	27
3 有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定結果	28
4 大気汚染に関する環境基準等	29

第1章 常時監視測定局における測定概要

1 監視測定体制

本市の大気に係る測定体制は、自動測定機による常時監視システムとして、工場や自動車等の発生源からの影響を直接受けない一般環境大気中の汚染物質等を測定する一般環境大気測定局（以下「一般局」という。）20局、自動車から排出される汚染物質の測定を目的として主要幹線道路沿道に設置している自動車排出ガス測定局（以下「自排局」という。）8局、大規模な工場・事業場からの大気汚染物質排出量等を監視する発生源工場監視局30局となっています。ただし、一般局のうち、港南区野庭中央公園測定局は港南区野庭中学校測定局から移転し、令和3年度から測定を開始しました。また、中区加曽台測定局は移設対応のため、令和2年度から測定を中止しています。

この測定局及び監視局で測定されたデータは、テレメータシステムにより光ファイバー等のネットワーク回線を介して環境創造局の監視センターに送信され、監視センターではこれらのデータを自動的にコンピュータ処理し、市内の汚染状況や発生源からの汚染物質排出量等を把握・監視しています。

また、光化学スモッグ等の注意報発令時には、発生源工場監視局が設置されている大規模な工場・事業場に対して、神奈川県大気汚染緊急時措置要綱で取り決めた燃料使用量等の削減措置の実施状況を監視しています。

表 1 - 1 大気汚染常時監視測定局の概要

	測定局名称	略称	所在地	用途地域	測定局舎
一般局	鶴見区潮田交流プラザ	潮田	鶴見区本町通4-171-23	商	建物の4階
	神奈川区総合庁舎	神奈川庁舎	神奈川区広台太田町3-8	商	庁舎の旧望楼内(7階に相当)
	港北区総合庁舎	港北庁舎	港北区大豆戸町26-1	商	庁舎の5階内
	中区加曾台	加曾台	中区根岸加曾台1-1	住	地上のコンテナ
	磯子区総合庁舎	磯子庁舎	磯子区磯子3-5-1	商	庁舎の3階内
	保土ヶ谷区桜丘高校	桜丘	保土ヶ谷区桜ヶ丘2-15-1	住	地上のコンテナ
	西区平沼小学校	平沼	西区平沼2-11-36	商	地上のコンテナ
	金沢区長浜	長浜	金沢区富岡東6-16-1	住	地上のコンテナ
	鶴見区生麦小学校	生麦	鶴見区生麦4-15-1	住	地上のコンテナ
	中区本牧	本牧	中区本牧大里町155-18	住	地上のコンテナ
	戸塚区汲沢小学校	汲沢	戸塚区汲沢3-6-1	住	地上のコンテナ
	港南区野庭中央公園	野庭	港南区野庭町613	住	地上のコンテナ
	旭区鶴ヶ峯小学校	鶴ヶ峯	旭区鶴ヶ峰1-42	住	地上のコンテナ
	瀬谷区南瀬谷小学校	南瀬谷	瀬谷区南瀬谷1-1-1	住	地上のコンテナ
	南区横浜商業高校	横浜商業	南区南太田2-30-1	住	地上のコンテナ
	栄区上郷小学校	上郷	栄区犬山町6-1	住	地上のコンテナ
	緑区三保小学校	三保	緑区三保町1867	住	地上のコンテナ
	青葉区総合庁舎	青葉庁舎	青葉区市ヶ尾町31-4	住	庁舎4階屋上
	都筑区総合庁舎	都筑庁舎	都筑区茅ヶ崎中央32-1	商	庁舎3階内
泉区総合庁舎	泉庁舎	泉区和泉中央北5-1-1	住	庁舎4階内	
自排局	鶴見区下末吉小学校	下末吉	鶴見区下末吉2-25-6	準工	地上のコンテナ
	西区浅間下交差点	浅間下	西区浅間町1-16	商	地上のコンテナ
	港南中学校	港南中	港南区港南中央通6-1	住	地上のコンテナ
	戸塚区矢沢交差点	矢沢	戸塚区戸塚町4272	住	地上のコンテナ
	旭区都岡小学校	都岡	旭区都岡町4-8	住	地上のコンテナ
	青葉台	青葉台	青葉区しらとり台5	住	地上のコンテナ
	資源循環都筑工場前	都筑工場前	都筑区平台27-1	準工	地上のコンテナ
磯子区滝頭	滝頭	磯子区滝頭3-1-68	商	地上のコンテナ	

(令和3年3月現在)

主要固定発生源の方位と距離		主要道路の方位と距離	
E～SW	0.5kmに京浜工業地帯	SSE	0.3kmに東京大師横浜線
		SSE	0.3kmに首都高速横浜羽田空港線
E	2kmに京浜工業地帯	NW	30mに国道1号
	特になし	W	50mに東京丸子横浜線
		S	60mに市道環状2号線
S	0.5kmに石油精製工場	S	100mに山下本牧磯子線
		S	140mに首都高速湾岸線
E	1～2kmに都市ガス工場と2つの発電所	WNW	50mに国道16号
NE	2kmに石油精製工場	ESE	30mに市道磯子方面578号線
SSW	1.5kmに焼却工場	NW	0.6kmに国道1号(横浜新道)
		S	0.7kmに国道1号
	特になし	SE	200mに国道1号
SE	2kmに金沢工業団地と焼却工場	W	350mに国道16号
E～SW	0.5kmに京浜工業地帯	NW	150mに国道15号
		SW	250mに東京大師横浜線
S	0.3kmに石油精製工場	S	200mに首都高速湾岸線および市道本牧170号線
	特になし	NE	0.9kmに横浜伊勢原線(長後街道)
		SE	1.0kmに国道1号
	特になし	SE	0.6kmに横浜鎌倉線(鎌倉街道)
		NE	0.5kmに横浜横須賀道路
N	1.3kmに焼却工場	N	0.8kmに国道16号
		WNW	0.8kmに横浜厚木線
	特になし	NW	0.5kmに丸子中山茅ヶ崎線
		N	1.0kmに横浜厚木線
	特になし	NW	200mに平戸桜木町線
		E	1.2kmに国道16号
	特になし	NE	0.6kmに原宿六浦線
		E	2.4kmに横浜横須賀道路
	特になし		特になし
	特になし	SSE	200mに国道246号
		SW	45mに横浜上麻生線
SSW	1.2kmに焼却工場	SE	50mに市道中山北山田線
	特になし	S	70mに横浜伊勢原線
S	2kmに京浜工業地帯	N	5mに国道1号
	特になし	NE	5mに横浜生田線
		SE	26mに青木浅間線
	特になし	S	4mに横浜鎌倉線(鎌倉街道)
	特になし	E	6mに国道1号(横浜新道)
	特になし	NE	3mに国道16号
		NW	72mに丸子中山茅ヶ崎線
	特になし	NW	5mに国道246号
SW	150mに焼却工場	N	16mに市道新横浜元石川線
SE	1kmに根岸湾工業地帯	E	5mに国道16号

表 1 - 2 大気汚染常時監視測定局及び測定項目

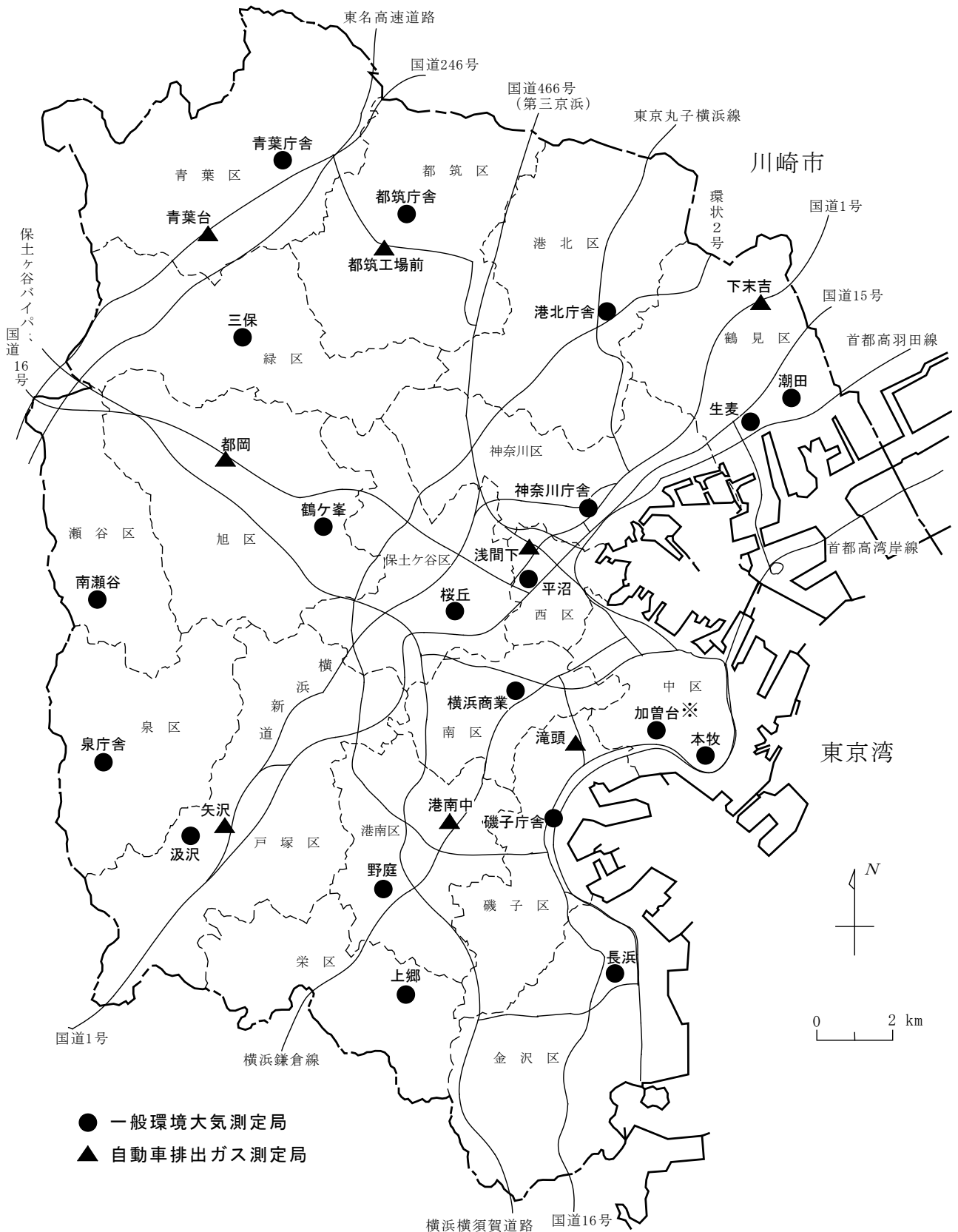
(令和 3 年度)

種 別	測 定 項 目 測 定 局 名 称	二酸化硫黄	浮遊粒子状物質	微小粒子状物質	一酸化窒素	二酸化窒素	光化学オキシダント	非メタン炭化水素	メタン	一酸化炭素	風向	風速	温度	湿度	全日射量	放射収支量
一 般 環 境 大 気 測 定 局	鶴見区潮田交流プラザ※ ¹	S41	S46	H23	S52	S52	S52	S57	S57		S44	S44				
	神奈川区総合庁舎	S40	S46	H25	S50	S50	S50				S44	S44				
	港北区総合庁舎	S40	S46	H25	S52	S52	S52				S44	S44				
	中区加曽台		S46		S61	S61					S44	S44				
	磯子区総合庁舎	S42	S46	H24	S50	S50	S50				S44	S44				
	保土ヶ谷区桜丘高校	S44	S46	H25	S50	S50	S50				S44	S44				
	西区平沼小学校	S46	S46	H26	S52	S52	S52				S46	S46				
	金沢区長浜	S46	S46	H25	S50	S50	S50	S57	S57		S46	S46	S51	S51		S60
	鶴見区生麦小学校		S48		S48	S48	S48	S56	S56		S48	S48				
	中区本牧	S48	S48	H25	S48	S48	S48	S51	S51		S53	S53			S53	
	戸塚区汲沢小学校	S59	S59		S59	S59	S59				S59	S59				
	港南区野庭中央公園※ ²	S55	S55	H25	S55	S55	S55				S55	S55				
	旭区鶴ヶ峯小学校	S55	S55	H25	S55	S55	S55	S56	S56		S55	S55				
	瀬谷区南瀬谷小学校	S56	S56	H25	S56	S56	S56				S56	S56				
	南区横浜商業高校	S57	S57	H25	S57	S57	S57				S57	S57				
	栄区上郷小学校	H4	H4	H25	H4	H4	H4				H4	H4				
	緑区三保小学校	H7	H7	H25	H7	H7	H7	H7	H7		H7	H7	H7	H7		
	青葉区総合庁舎	H7	H7	H26	H7	H7	H7				H7	H7				
	都筑区総合庁舎	H7	H7	H25	H7	H7	H7				H7	H7				
	泉区総合庁舎	H9	H9	H23	H9	H9	H9				H9	H9				
自 動 車 排 出 ガ ス 測 定 局	鶴見区下末吉小学校		S54		S54	S54										
	西区浅間下交差点		S46	H24	S46	S46	S58	S58	S46							
	港南中学校		S51		S51	S51										
	戸塚区矢沢交差点		S47	H24	S47	S47	H2	H2								
	旭区都岡小学校		S47		S47	S47	H3	H3	S47							
	青葉台		S47	H23	S47	S47			S47							
	資源循環都筑工場前		S63		S63	S63										
	磯子区滝頭		H4		H4	H4	H4	H4								

表中の数字は、測定項目の測定開始年（S 昭和、H 平成）を示す。

※ 1 鶴見区潮田交流プラザは、旧鶴見保健所及び鶴見区下野谷小学校の継続局です。

※ 2 港南区野庭中央公園は、港南区野庭中学校の継続局です。



※ 中区加曽台測定局については、局舎の移設作業を実施しているため、測定を休止しています。

図1-1 大気汚染監視測定局配置図（令和3年3月現在）

2 常時監視測定値の取扱い及び評価方法

本報告書に記載されている常時監視測定値の取扱い及び評価方法は、「環境省 環境大気常時監視マニュアル 第6版」に準拠しています。

3 常時監視項目の測定方法

表1-3 常時監視項目の測定方法

測定項目	測定方法
二酸化硫黄	JIS B 7952:2004の規格に基づく紫外線蛍光法
浮遊粒子状物質	JIS B 7954の規格に基づくベータ線吸収法
微小粒子状物質	JIS Z 8851のサンプラーを用いたベータ線吸収法
窒素酸化物	JIS B 7953の規格に基づくオゾンを用いた化学発光法
光化学オキシダント	JIS B 7957:2006の規格に基づく紫外線吸収法
非メタン炭化水素、メタン	JIS B 7956の規格に基づく水素炎イオン化検出法
一酸化炭素	JIS B 7951の規格に基づく非分散型赤外線吸収法
風向、風速	風車型
温度	白金抵抗式
湿度	静電容量式
全天日射量	熱電堆式
放射収支量	熱電堆式

第2章 令和3年度大気汚染の状況

横浜市では大気環境の状況を把握するため、大気汚染防止法に基づき、二酸化硫黄等の常時監視（自動測定機による連続測定）及びベンゼン等の有害大気汚染物質の測定（毎月の定点測定）を継続的に行っています。

1 常時監視測定結果

(1) 大気環境の概要

大気汚染の状況を把握するため、市内に一般局20局、自排局8局を設置し、環境基本法に基づき、環境基準が設定されている二酸化硫黄、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、二酸化窒素、光化学オキシダント及び微小粒子状物質について常時監視を行っています。

【p.13:表2-2】

令和3年度の大気環境の状況は、微小粒子状物質等5物質について、全局で環境基準に適合しました。光化学オキシダントは全局で環境基準に適合しませんでした。

【p.7:表2-1】

表 2-1 最近10年間の環境基準適合局数の推移

年 度	二酸化硫黄 (SO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)		二酸化窒素 (NO ₂)		光化学オキシダント (O _x)	微小粒子状物質 (PM _{2.5})	
	一般局	自排局	一般局	自排局	一般局	自排局	一般局	一般局	自排局
H24年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	0/3	1/3
H25年度	18/18	3/3	17/20	7/8	20/20	8/8	0/19	0/5 ※	0/3
H26年度	17/17 ※	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	2/15	0/3
H27年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	15/17	1/3
H28年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	17/17	3/3
H29年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	17/17	3/3
H30年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	17/17	3/3
R元年度	18/18	3/3	20/20	8/8	20/20	8/8	0/19	17/17	3/3
R2年度	17/17 ※	3/3	18/18 ※	8/8	18/18 ※	8/8	0/18 ※	16/16 ※	3/3
R3年度	18/18	3/3	19/19 ※	8/8	19/19 ※	8/8	0/19	17/17	3/3

(注) 表中の数字は適合局数/測定局数で、太字は全局適合を表す。

※環境基準の評価対象外となった測定局は除く。

(2) 二酸化硫黄(SO₂)

測定を行った一般局18局の全局で環境基準に適合しました。環境基準の評価対象となった測定局のうち、全局での適合は、昭和55年度から42年連続です。

【p.7:表2-1】

年平均値の全局平均は 0.002 ppm で、昭和 42 年度をピークに昭和 50 年度までに急激に低下し、その後緩やかに改善傾向を示し、低濃度で推移しています。

【p. 8: 図 2 - 1, p. 16: 表 2 - 4】

年平均値の最高は、「磯子区総合庁舎測定局」で 0.003ppm、最低は、「戸塚区汲沢小学校測定局」他 2 局で 0.001ppm でした。

【p. 15: 表 2 - 3】

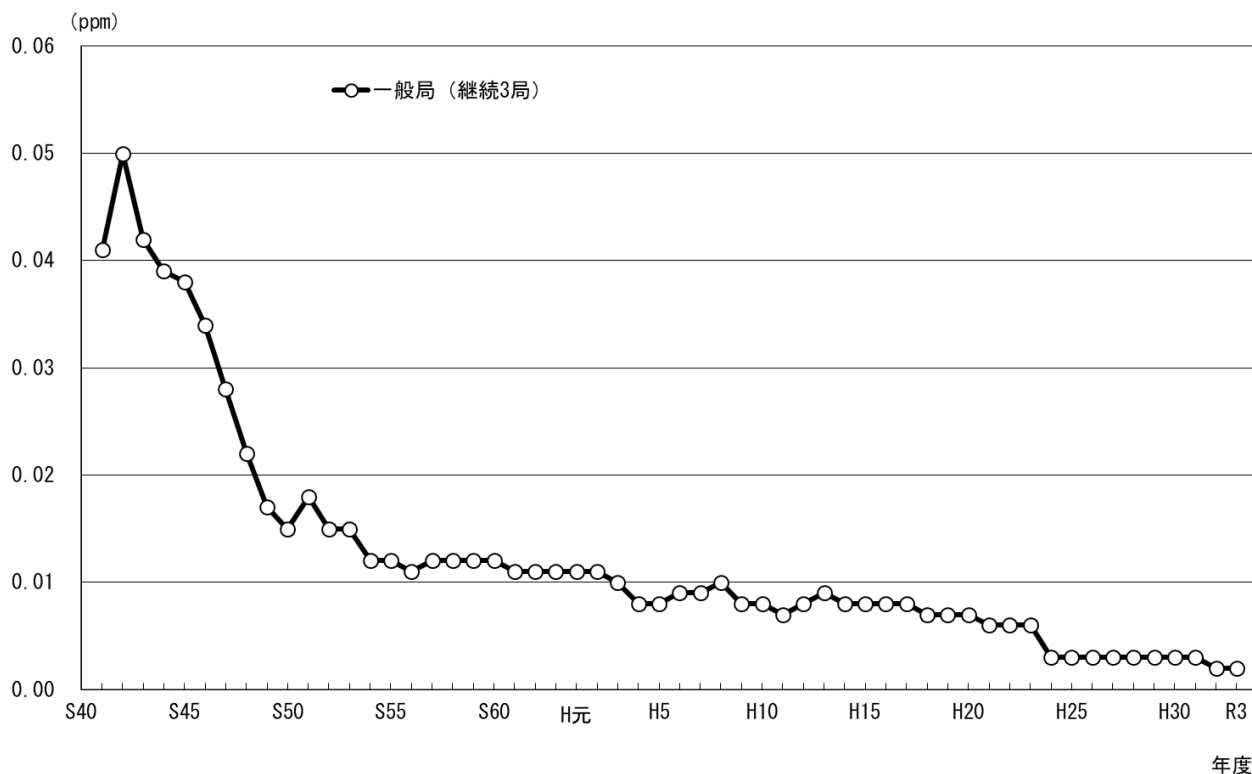


図 2 - 1 二酸化硫黄年平均値の経年変化 (継続測定局)

(3) 一酸化炭素(CO)

測定を行った自排局 3 局の全局で環境基準に適合しました。全局での適合は、昭和 56 年度から 41 年連続です。

【p. 7: 表 2 - 1】

年平均値の全局平均は、0.4ppm でした。昭和 52 年度以降低下し、その後も市内全域にわたって低濃度で推移しています。

【p. 18: 図 2 - 7, 表: 2 - 6】

年平均値は、3 局で 0.4ppm でした。

【p. 17: 表 2 - 5】

(4) 浮遊粒子状物質(SPM)

測定を行った一般局 19 局及び自排局 8 局の全局で環境基準に適合しました。

【p. 7: 表 2 - 1】

年平均値の全局平均は、一般局が 0.015mg/m³、自排局が 0.014mg/m³ でした。

【p. 19: 表 2 - 7, p. 20: 表 2 - 8】

濃度が最も高かった昭和 53 年度と比較し、一般局で 75%、自排局では 82% 低減しました。

一般局及び自排局ともに改善傾向を示しています。

【p. 9 : 図 2 - 2】

一般局の年平均値の最高は、「港北区総合庁舎測定局」他 2 局で $0.016\text{mg}/\text{m}^3$ 、最低は、「保土ヶ谷区桜丘高校測定局」他 1 局が $0.013\text{mg}/\text{m}^3$ でした。

【p. 19: 表 2 - 7】

自排局の年平均値の最高は、「西区浅間下交差点測定局」他 2 局が $0.015\text{mg}/\text{m}^3$ 、最低は、「資源循環都筑工場前測定局」が $0.013\text{mg}/\text{m}^3$ でした。自動車排ガスの影響を受ける自排局ですが、近年は一般局と同程度にまで低減しています。

【p. 20: 表 2 - 8, p. 21: 図 2 - 8】

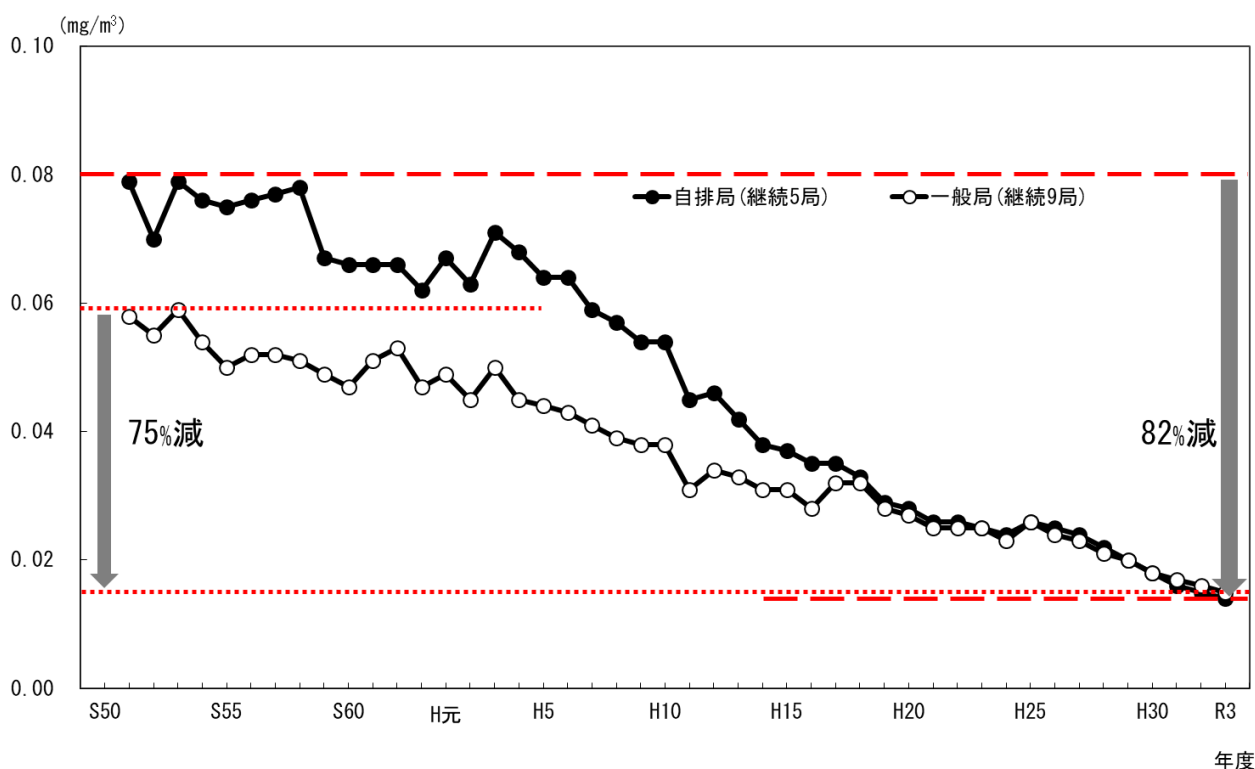


図 2-2 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化 (継続測定局)

(5) 二酸化窒素 (NO_2)

測定を行った一般局 19 局及び自排局 8 局の全局で環境基準に適合しました。全局での適合は、平成 17 年度から 17 年連続です。

【p. 7: 表 2 - 1】

年平均値の全局平均は、一般局が 0.013ppm 、自排局が 0.017ppm でした。

【p. 22: 表 2 - 9】

自排局では最も濃度が高かった昭和 54 年度と比較し、65%低減しました。一般局で最も濃度が高かった平成 3 年度と比較し、58%低減しました。直近の 10 年間でも、緩やかではありますが改善傾向を示しています。

【p. 10 : 図 2 - 3, p. 24: 図 2 - 10】

一般局の年平均値の最高は、「鶴見区潮田交流プラザ測定局」他 2 局で 0.016ppm 、最低は、

「緑区三保小学校測定局」で0.010ppmでした。

【p. 22:表 2 - 9】

自排局の年平均値の最高は、「西区浅間下交差点測定局」が0.021ppm、最低は、「資源循環都筑工場前測定局」が0.013ppmでした。

【p. 22:表 2 - 9】

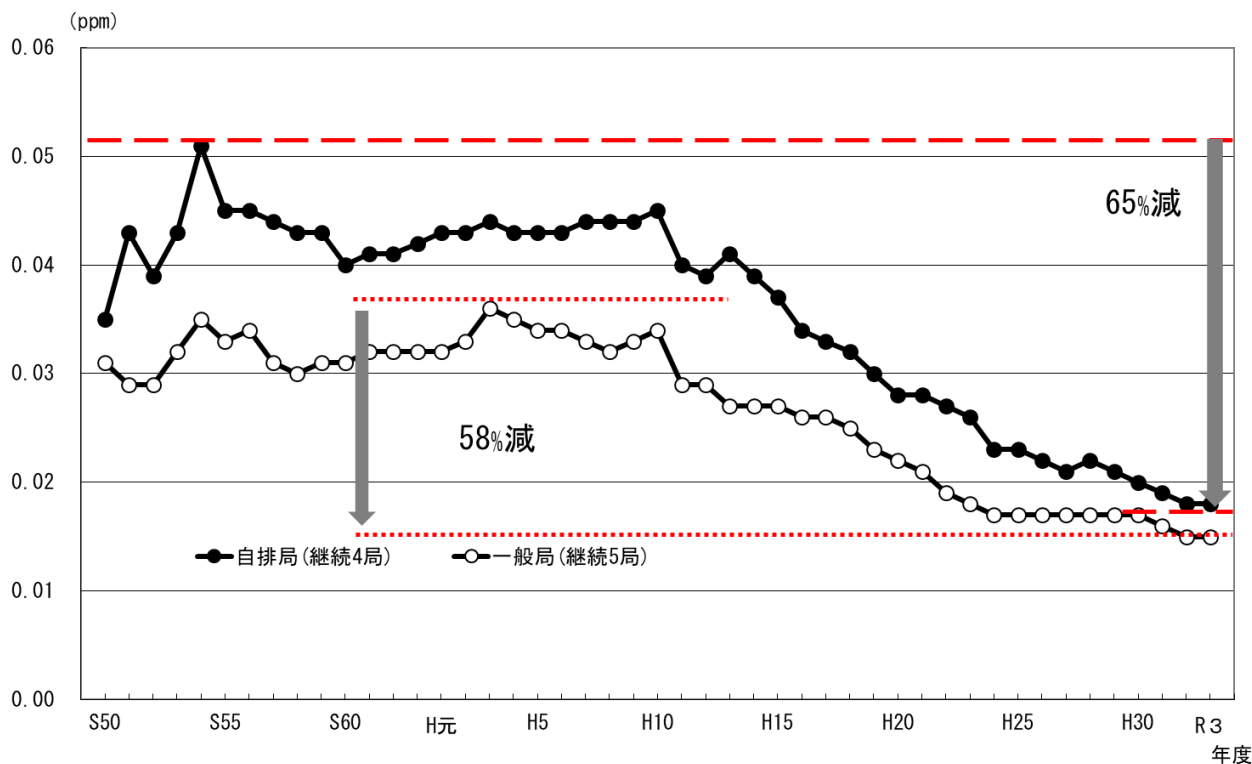


図 2-3 二酸化窒素の年平均値の経年変化（継続測定局）

(6) 光化学オキシダント(O_x)

測定を行った一般局 19 局の全局で環境基準に不適合でした。平成 2 年度から 32 年連続で全局不適合が続いています。

【p. 7:表 2 - 1】

昼間の年平均値の最高は、「戸塚区汲沢小学校測定局」他 1 局が 0.035ppm、最低は、「鶴見区潮田交流プラザ測定局」他 3 局が 0.030ppm で、19 局の平均は 0.032ppm でした。

【p. 25:表 2 - 1 1】

本市域への光化学スモッグ注意報の発令回数は 4 回で、届出被害者数は 2 人でした。なお、光化学スモッグ警報は昭和 54 年以降発令されていません。

【p. 11:図 2 - 4, p. 26:表 2 - 1 2】

平成 26 年 9 月に、環境省から光化学オキシダント濃度の長期的な改善傾向を評価するための指標（日最高値 8 時間値の年間 99 パーセンタイル値の 3 年移動平均値）が示されました。この指標での経年変化をみると、近年横ばいの数値となっています。

【p. 26:図 2 - 1 2】

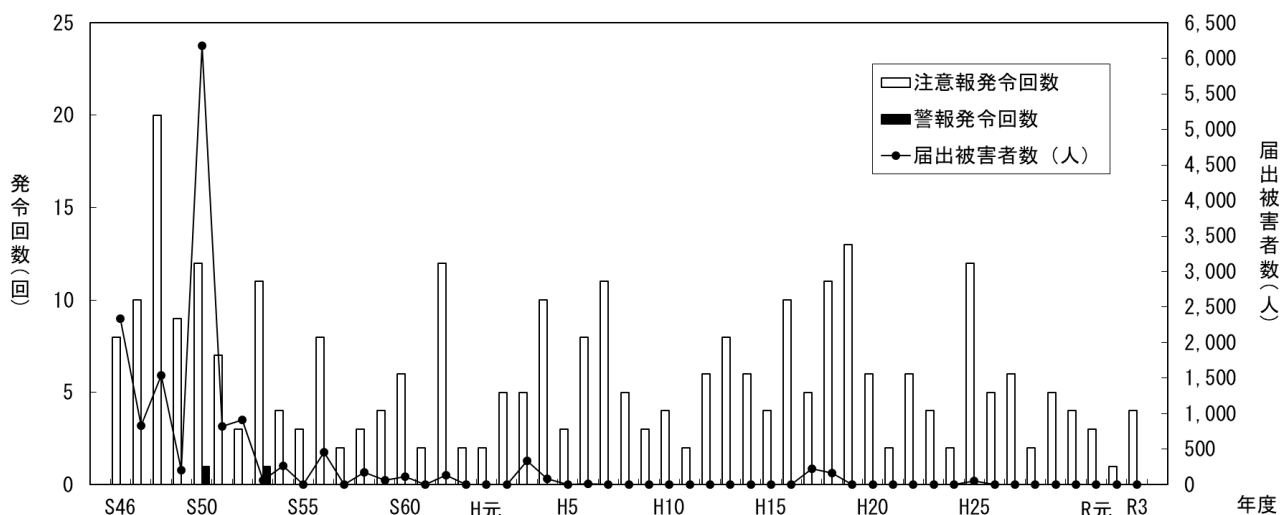


図 2-4 光化学スモッグ注意報・警報の発令状況及び届出被害者数の経年変化

(7) 微小粒子状物質(PM2.5)

測定を行った一般局 17 局及び自排局 3 局の全局で環境基準に適合しました。

【p. 7:表 2-1】

一般局の年平均値の最高は、「瀬谷区南瀬谷小学校測定局」で、 $9.8 \mu\text{g}/\text{m}^3$ でした。最低は、「緑区三保小学校測定局」で $5.7 \mu\text{g}/\text{m}^3$ でした。

自排局の年平均値の最高は、「西区浅間下交差点測定局」他 1 局で、 $10.9 \mu\text{g}/\text{m}^3$ でした。最低は、「戸塚区矢沢交差点測定局」で $10.0 \mu\text{g}/\text{m}^3$ でした。

【p. 27:表 2-1 3】

2 有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定結果

有害大気汚染物質のうちの優先取組物質等の 23 物質を一般局 2 局（固定発生源周辺 2 局）と自排局 1 局（沿道 1 局）で測定しました。（有害大気汚染物質の調査地点は、「一般環境」、「固定発生源周辺」及び「沿道」に分類されています。）

有害大気汚染物質のうち、環境基準又は指針値が設定されている 15 物質（ベンゼン等）は、測定を行った全局で環境基準又は指針値に適合しました。

【p. 28:表 2-1 4～表 2-1 6】

ダイオキシン類は市内 6 地点で年 2 回測定し、すべての地点で環境基準に適合しました。

【p. 28:表 2-1 7】

第3章 空間放射線測定結果

空間ガンマ線の測定

環境中には、アルファ線、ベータ線、ガンマ線等の放射線が存在するが、本市ではその中で空気中において比較的透過力が大きい空間ガンマ線のみ測定対象として、保土ヶ谷区仏向西の市有地において地上1 mの空間放射線量の測定をしている。

空間ガンマ線の年間平均値は、30nGy/時、最高値は50nGy/時であった。

表3-1-1 空間ガンマ線の測定結果

(単位：nGy/時)

年月	令和3年									令和4年			年間
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
測定時間	720	744	720	744	744	720	744	720	744	744	653	744	8741
最高値とその時間数	44	48	41	43	42	46	48	44	50	46	42	47	50
	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	2	1	1
最低値	29	29	29	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
平均値	30	30	30	30	30	30	30	30	30	29	30	30	30
標準偏差	1.71	2.13	1.48	2.07	1.64	2.25	2.13	1.63	1.91	1.36	1.96	2.17	1.91

(注) 測定単位は吸収線量率として nGy/時を用いている。

1 nGy (ナノグレイ) = 10 億分の 1 Gy (グレイ)

吸収線量は、放射線が物質中を通過するときに、その物質に吸収される放射線エネルギー量であり、グレイ (gray、記号 Gy) が単位として用いられている。

1 グレイ = 物質 1 kg 中に 1 ジュールのエネルギーが吸収されたときのエネルギー量

<資料編>

1 大気汚染の測定内容

表 2-2 大気汚染常時監視測定局及び測定項目

種 別	地点 番号	測定局名	測定項目							
			二 酸 化 硫 黄	一 酸 化 炭 素	浮 遊 粒 子 状 物 質	二 酸 化 窒 素	光 化 学 オ キ シ ダ ン ト	微 小 粒 子 状 物 質	有 害 大 気 汚 染 物 質	ダ イ オ キ シ ン
一 般 環 境 大 気 測 定 局 ※ 1	1	鶴見区潮田交流プラザ	○	—	○	○	○	○	○	—
	2	神奈川区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	—
	3	港北区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	—
	4	中区加曾台	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	磯子区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	—
	6	保土ヶ谷区桜丘高校	○	—	○	○	○	○	○	—
	7	西区平沼小学校	○	—	○	○	○	○	○	○
	8	金沢区長浜	○	—	○	○	○	○	○	—
	9	鶴見区生麦小学校	—	—	○	○	○	—	—	○
	10	中区本牧	○	—	○	○	○	○	○	—
	11	戸塚区汲沢小学校	○	—	○	○	○	—	—	○
	12	港南区野庭中央公園※ ³	○	—	○	○	○	○	○	—
	13	旭区鶴ヶ峯小学校	○	—	○	○	○	○	○	—
	14	瀬谷区南瀬谷小学校	○	—	○	○	○	○	○	○
	15	南区横浜商業高校	○	—	○	○	○	○	○	—
	16	栄区上郷小学校	○	—	○	○	○	○	○	○
	17	緑区三保小学校	○	—	○	○	○	○	○	—
	18	青葉区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	○
	19	都筑区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	—
	20	泉区総合庁舎	○	—	○	○	○	○	○	—
自 動 車 排 出 ガ ス 測 定 局 ※ 2	21	鶴見区下末吉小学校	—	—	○	○	—	—	—	—
	22	西区浅間下交差点	—	○	○	○	—	○	—	—
	23	港南中学校	—	—	○	○	—	—	—	—
	24	戸塚区矢沢交差点	—	—	○	○	—	○	○	—
	25	旭区都岡小学校	—	○	○	○	—	—	—	—
	26	青葉台	—	○	○	○	—	○	—	—
	27	資源循環都筑工場前	—	—	○	○	—	—	—	—
	28	磯子区滝頭	—	—	○	○	—	—	—	—

※1：以下「一般局」という。 ※2：以下「自排局」という。

※3：令和2年度までは「野庭中学校」にて測定。

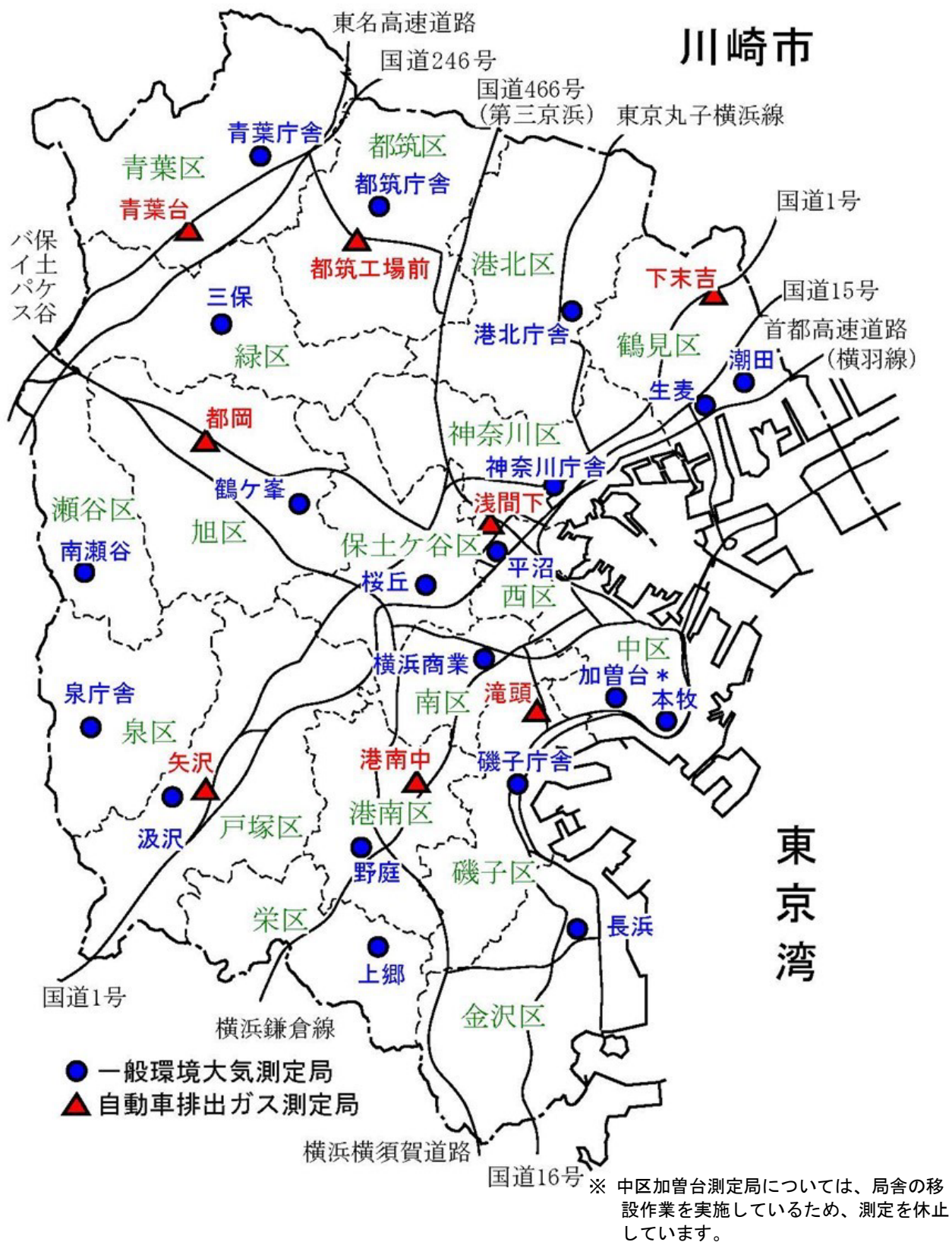


図2-5 大気汚染常時監視測定局の配置

2 常時監視測定結果

(1) 二酸化硫黄(SO₂)

表 2-3 令和3年度 二酸化硫黄の年間測定結果（一般局）

測定局	年平均値	1時間値が 0.1ppmを超 えた時間数	日平均値が 0.04ppmを 超えた日数	日平均値の 2%除外値	長期的評価に よる環境基準 の適否
	(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.002	0	0	0.004	○
神奈川区総合庁舎	0.002	0	0	0.003	○
港北区総合庁舎	0.002	0	0	0.003	○
磯子区総合庁舎	0.003	0	0	0.005	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.002	0	0	0.003	○
西区平沼小学校	0.002	0	0	0.003	○
金沢区長浜	0.002	0	0	0.003	○
中区本牧	0.002	0	0	0.004	○
戸塚区汲沢小学校	0.001	0	0	0.003	○
港南区野庭中央公園	0.001	0	0	0.003	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.002	0	0	0.003	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.002	0	0	0.003	○
南区横浜商業高校	0.002	0	0	0.004	○
栄区上郷小学校	0.001	0	0	0.003	○
緑区三保小学校	0.002	0	0	0.002	○
青葉区総合庁舎	0.002	0	0	0.003	○
都筑区総合庁舎	0.002	0	0	0.002	○
泉区総合庁舎	0.002	0	0	0.003	○
一般局平均	0.002	—	—	0.003	—

表 2-4 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（一般局）

(ppm)

測定局	年度									
	平成 24	25	26	27	28	29	30	令和 元	2	3
鶴見区潮田交流プラザ	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	0.002
神奈川区総合庁舎	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002
港北区総合庁舎	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
中区加曽台	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
磯子区総合庁舎	0.005	0.004	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.002	0.003
保土ヶ谷区桜丘高校	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
西区平沼小学校	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
金沢区長浜	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
鶴見区生麦小学校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中区本牧	0.004	0.003	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.004	0.003	0.002
戸塚区汲沢小学校	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
港南区野庭中央公園	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.003	0.002	0.002	-	0.001
旭区鶴ヶ峯小学校	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
瀬谷区南瀬谷小学校	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
南区横浜商業高校	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.003	0.002	0.002	0.001	0.002
栄区上郷小学校	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001
緑区三保小学校	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
青葉区総合庁舎	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
都筑区総合庁舎※	0.005	0.001	(0.001)	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002
泉区総合庁舎	0.005	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002
一般局平均	0.003	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002

※平成 26 年度は、年間の測定時間 6000 時間未満のため、参考値です。

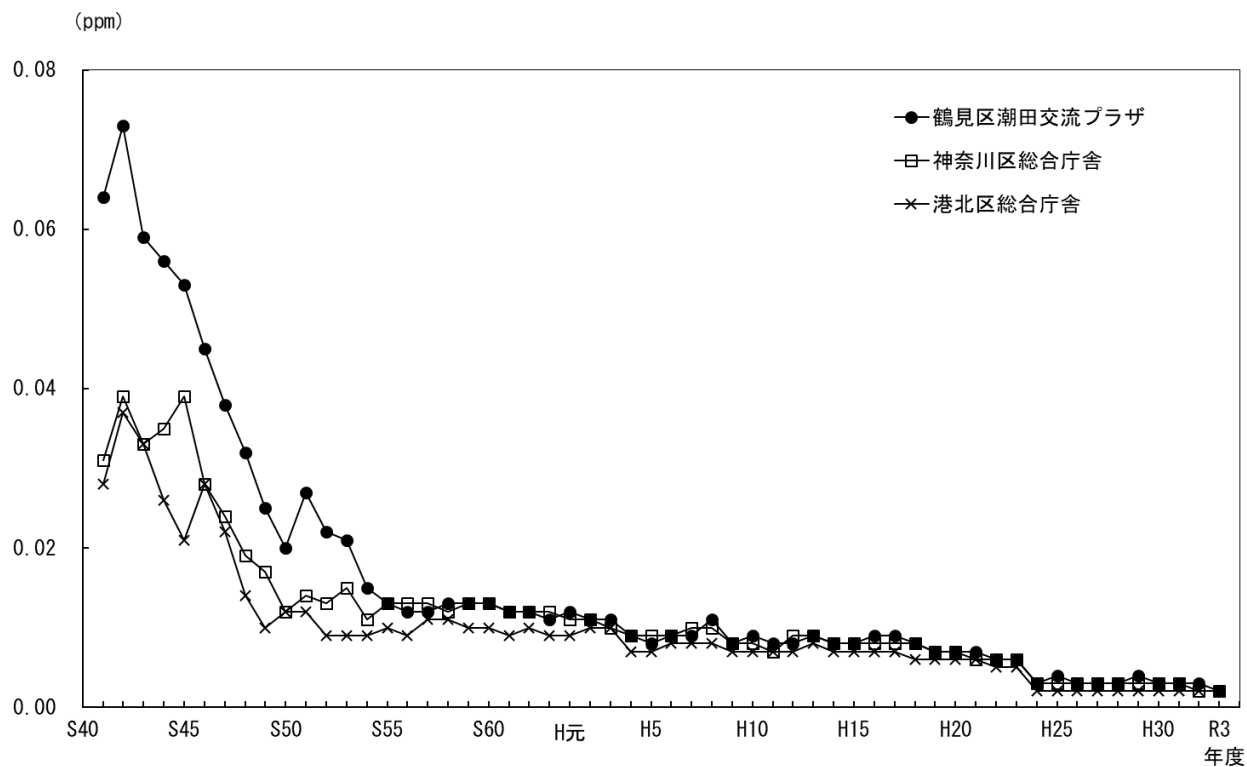


図2-6 二酸化硫黄の年平均値の経年変化（一般局継続3局）

(2) 一酸化炭素(CO)

表2-5 令和3年度 一酸化炭素の年間測定結果（自排局）

測定局	年平均値	8時間値 が20ppm を超えた 回数	日平均値 が10ppm を超えた 日数	日平均値の 2%除外値	長期的評価に よる環境基準 の適否
	(ppm)	(回)	(日)	(ppm)	(適○ 否×)
西区浅間下交差点	0.4	0	0	0.6	○
旭区都岡小学校	0.4	0	0	0.8	○
青葉台	0.4	0	0	0.5	○
自排局平均	0.4	—	—	0.6	—

表 2 - 6 一酸化炭素の年平均値の経年変化（自排局）

(ppm)

測定局	平成								令和		
	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	
西区浅間下交差点	0.6	0.6	0.8	0.8	0.7	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	
旭区都岡小学校	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	
青葉台	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	0.4	
自排局平均	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4	

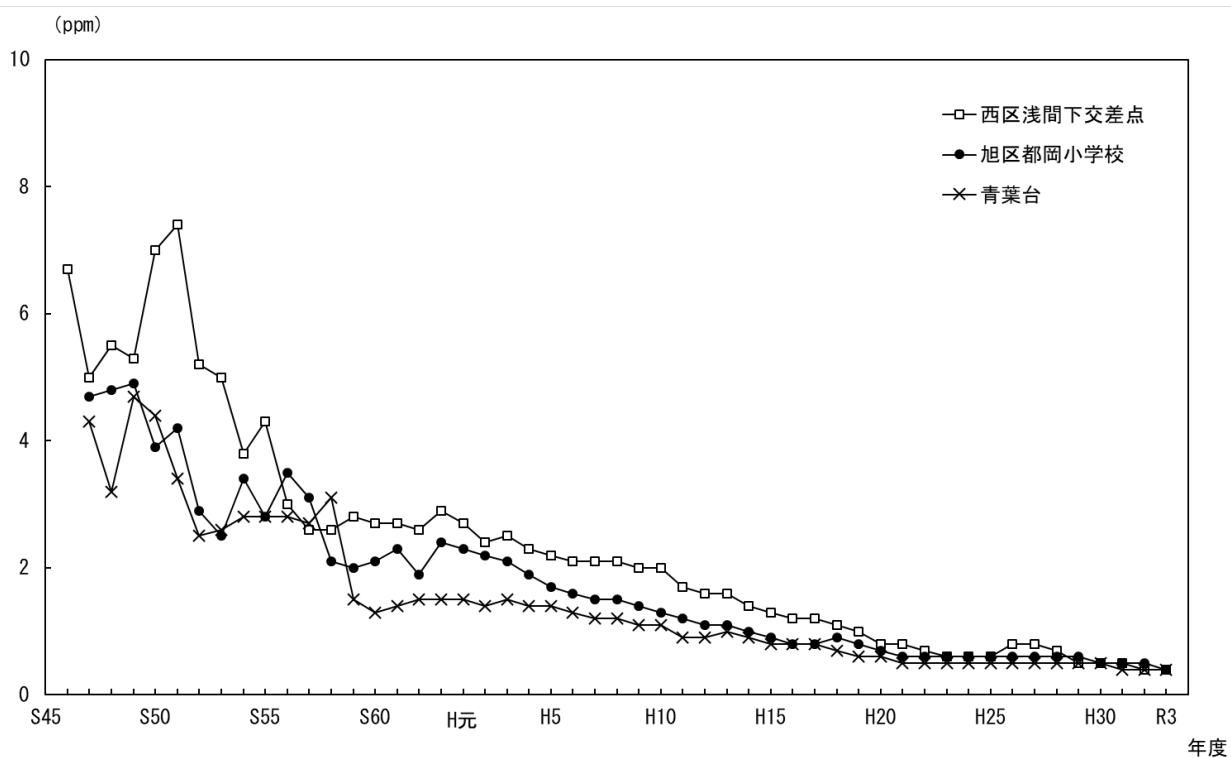


図 2 - 7 一酸化炭素の年平均値の経年変化（自排局継続 3 局）

(3) 浮遊粒子状物質 (SPM)

表 2-7 令和3年度 浮遊粒子状物質の年間測定結果 (一般局・自排局)

測定局	年平均値	1時間値が 0.20mg/m ³ を超えた時間数	日平均値が 0.10mg/m ³ を超え た日数とその割合		日平均値の 2%除外値	長期的評価に よる環境基準 の適否
	(mg/m ³)	(時間)	(日)	(%)	(mg/m ³)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.015	0	0	0	0.033	○
神奈川区総合庁舎	0.014	0	0	0	0.030	○
港北区総合庁舎	0.016	0	0	0	0.031	○
磯子区総合庁舎	0.014	0	0	0	0.036	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.013	0	0	0	0.030	○
西区平沼小学校	0.015	0	0	0	0.033	○
金沢区長浜	0.015	0	0	0	0.034	○
鶴見区生麦小学校	0.016	0	0	0	0.033	○
中区本牧	0.014	0	0	0	0.030	○
戸塚区汲沢小学校	0.014	0	0	0	0.033	○
港南区野庭中央公園	0.014	0	0	0	0.031	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.015	0	0	0	0.033	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.016	0	0	0	0.035	○
南区横浜商業高校	0.015	0	0	0	0.034	○
栄区上郷小学校	0.013	0	0	0	0.032	○
緑区三保小学校	0.015	0	0	0	0.035	○
青葉区総合庁舎	0.015	0	0	0	0.033	○
都筑区総合庁舎	0.015	0	0	0	0.032	○
泉区総合庁舎	0.015	0	0	0	0.035	○
一般局平均	0.015	—	—	—	0.033	—
鶴見区下末吉小学校	0.014	0	0	0	0.033	○
西区浅間下交差点	0.015	0	0	0	0.036	○
港南中学校	0.015	0	0	0	0.034	○
戸塚区矢沢交差点	0.014	0	0	0	0.035	○
旭区都岡小学校	0.014	0	0	0	0.031	○
青葉台	0.014	0	0	0	0.032	○
資源循環都筑工場前	0.013	0	0	0	0.032	○
磯子区滝頭	0.015	0	0	0	0.037	○
自排局平均	0.014	—	—	—	0.034	—

表2-8 浮遊粒子状物質年平均値の経年変化（一般局・自排局）

(mg/m³)

測定局	年度	平成							令和		
		24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
鶴見区潮田交流プラザ		0.024	0.028	0.024	0.019	0.018	0.018	0.018	0.017	0.016	0.015
神奈川区総合庁舎		0.023	0.026	0.022	0.019	0.018	0.019	0.018	0.018	0.016	0.014
港北区総合庁舎		0.023	0.026	0.025	0.023	0.021	0.021	0.018	0.018	0.017	0.016
中区加曽台		0.023	0.026	0.026	0.023	0.020	0.020	0.018	0.015	-	-
磯子区総合庁舎		0.024	0.027	0.025	0.024	0.022	0.022	0.018	0.016	0.014	0.014
保土ヶ谷区桜丘高校		0.022	0.023	0.024	0.023	0.021	0.021	0.017	0.015	0.014	0.013
西区平沼小学校		0.023	0.027	0.027	0.026	0.025	0.023	0.019	0.017	0.015	0.015
金沢区長浜		0.024	0.024	0.024	0.023	0.021	0.019	0.018	0.016	0.016	0.015
鶴見区生麦小学校		0.022	0.025	0.025	0.023	0.020	0.020	0.019	0.018	0.018	0.016
中区本牧		0.023	0.027	0.022	0.024	0.021	0.017	0.018	0.016	0.014	0.014
戸塚区汲沢小学校		0.023	0.026	0.026	0.024	0.022	0.021	0.018	0.016	0.015	0.014
港南区野庭中央公園		0.021	0.023	0.024	0.023	0.020	0.019	0.017	0.016	-	0.014
旭区鶴ヶ峯小学校		0.023	0.026	0.021	0.022	0.018	0.016	0.017	0.017	0.017	0.015
瀬谷区南瀬谷小学校		0.025	0.028	0.026	0.023	0.022	0.021	0.019	0.018	0.016	0.016
南区横浜商業高校		0.022	0.026	0.025	0.025	0.022	0.021	0.018	0.017	0.015	0.015
栄区上郷小学校		0.021	0.023	0.024	0.021	0.020	0.020	0.017	0.015	0.015	0.013
緑区三保小学校		0.022	0.024	0.024	0.021	0.019	0.019	0.018	0.017	0.017	0.015
青葉区総合庁舎		0.023	0.025	0.023	0.020	0.019	0.019	0.017	0.016	0.016	0.015
都筑区総合庁舎		0.022	0.025	0.022	0.019	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.015
泉区総合庁舎		0.022	0.025	0.026	0.021	0.019	0.018	0.018	0.015	0.014	0.015
一般局平均		0.023	0.026	0.024	0.022	0.020	0.020	0.018	0.017	0.016	0.015
鶴見区下末吉小学校		0.024	0.027	0.025	0.023	0.022	0.022	0.018	0.016	0.015	0.014
西区浅間下交差点		0.025	0.027	0.027	0.025	0.022	0.021	0.019	0.016	0.015	0.015
港南中学校		0.022	0.025	0.025	0.024	0.021	0.020	0.019	0.017	0.016	0.015
戸塚区矢沢交差点		0.023	0.026	0.024	0.023	0.022	0.020	0.018	0.015	0.015	0.014
旭区都岡小学校		0.024	0.027	0.025	0.025	0.022	0.020	0.017	0.015	0.015	0.014
青葉台		0.024	0.026	0.026	0.024	0.022	0.021	0.018	0.016	0.014	0.014
資源循環都筑工場前		0.021	0.023	0.025	0.022	0.020	0.020	0.016	0.015	0.014	0.013
磯子区滝頭		0.022	0.025	0.024	0.024	0.021	0.021	0.019	0.017	0.016	0.015
自排局平均		0.023	0.026	0.025	0.024	0.022	0.021	0.018	0.016	0.015	0.014

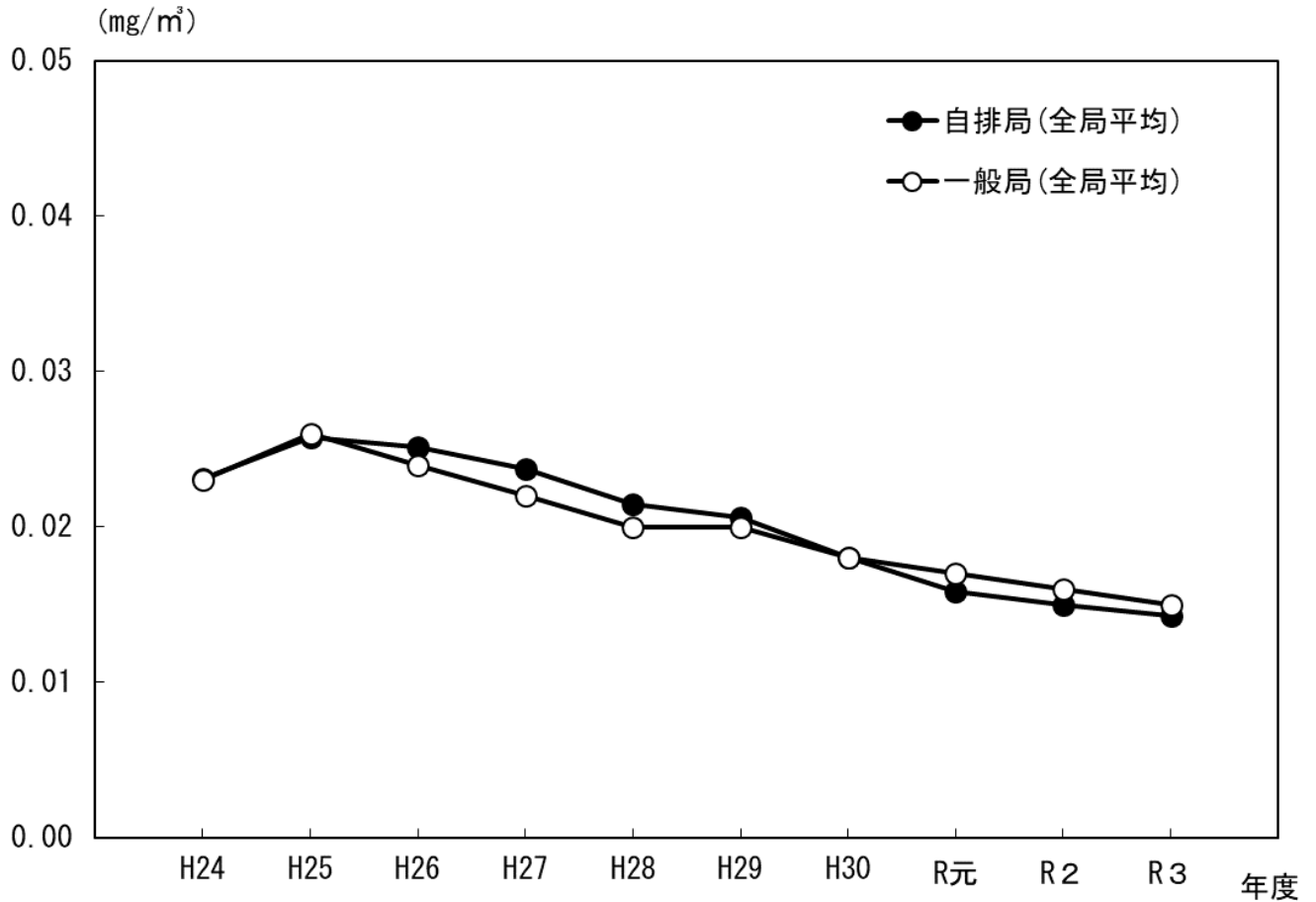


図 2-8 浮遊粒子状物質の年平均値の経年変化

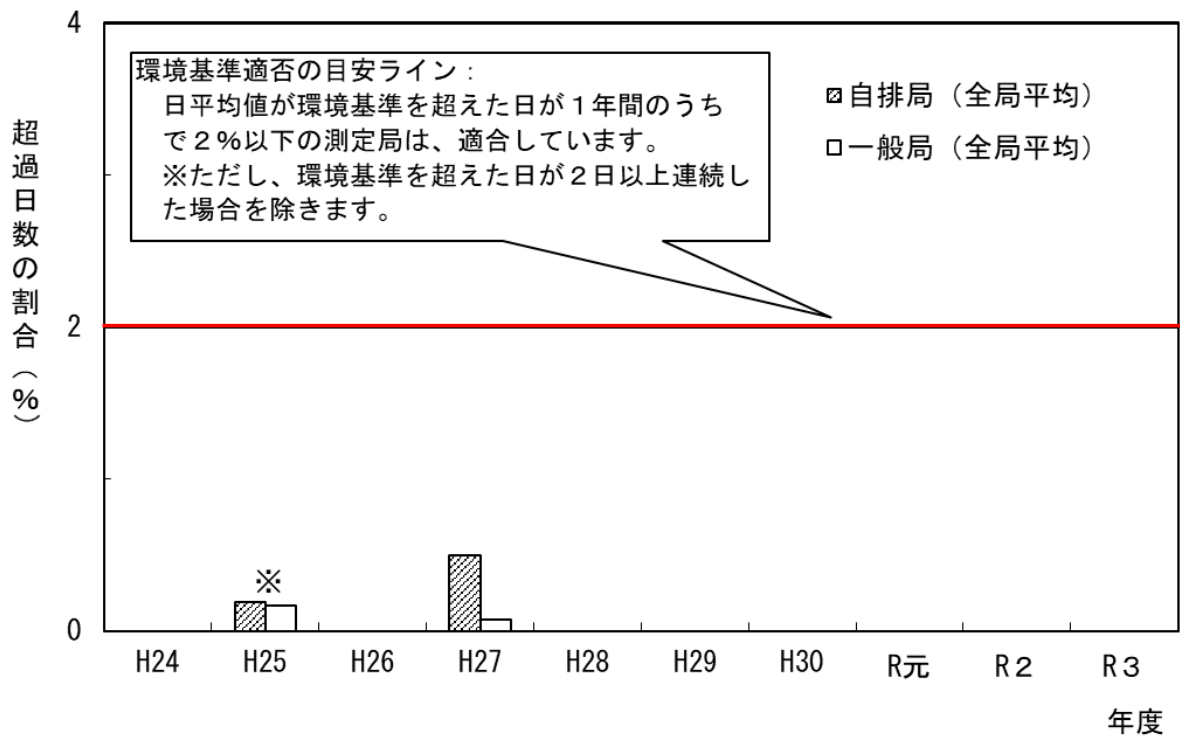


図 2-9 浮遊粒子状物質の日平均値が環境基準値 (0.10 mg / m³) を超えた日数の割合

(4) 二酸化窒素(NO₂)

表2-9 令和3年度 二酸化窒素の年間測定結果(一般局・自排局)

測定局	年平均値 (ppm)	日平均値が 0.06ppmを超えた 日数とその割合		日平均値の 年間98%値 (ppm)	98%値評価に よる日平均値 が0.06ppmを 超えた日数 (日)	98%値評価に よる環境基準 の適否 (適○ 否×)
		(日)	(%)			
鶴見区潮田交流プラザ	0.016	0	0.0	0.034	0	○
神奈川区総合庁舎	0.015	0	0.0	0.033	0	○
港北区総合庁舎	0.014	0	0.0	0.031	0	○
磯子区総合庁舎	0.016	0	0.0	0.035	0	○
保土ヶ谷区桜丘高校	0.012	0	0.0	0.029	0	○
西区平沼小学校	0.015	0	0.0	0.033	0	○
金沢区長浜	0.012	0	0.0	0.027	0	○
鶴見区生麦小学校	0.015	0	0.0	0.034	0	○
中区本牧	0.016	0	0.0	0.034	0	○
戸塚区汲沢小学校	0.011	0	0.0	0.027	0	○
港南区野庭中央公園	0.013	0	0.0	0.028	0	○
旭区鶴ヶ峯小学校	0.011	0	0.0	0.028	0	○
瀬谷区南瀬谷小学校	0.012	0	0.0	0.028	0	○
南区横浜商業高校	0.015	0	0.0	0.035	0	○
栄区上郷小学校	0.011	0	0.0	0.026	0	○
緑区三保小学校	0.010	0	0.0	0.025	0	○
青葉区総合庁舎	0.013	0	0.0	0.026	0	○
都筑区総合庁舎	0.012	0	0.0	0.027	0	○
泉区総合庁舎	0.013	0	0.0	0.028	0	○
一般局平均	0.013	—	—	0.030	—	—
鶴見区下末吉小学校	0.019	0	0.0	0.038	0	○
西区浅間下交差点	0.021	0	0.0	0.039	0	○
港南中学校	0.017	0	0.0	0.039	0	○
戸塚区矢沢交差点	0.017	0	0.0	0.034	0	○
旭区都岡小学校	0.017	0	0.0	0.032	0	○
青葉台	0.016	0	0.0	0.032	0	○
資源循環都筑工場前	0.013	0	0.0	0.029	0	○
磯子区滝頭	0.017	0	0.0	0.034	0	○
自排局平均	0.017	—	—	0.035	—	—

表2-10 二酸化窒素の年平均値の経年変化（一般局・自排局）

(ppm)

測定局	年度	平成						令和			
		24	25	26	27	28	29	元	2	3	
鶴見区潮田交流プラザ		0.022	0.019	0.019	0.021	0.020	0.020	0.018	0.018	0.016	0.016
神奈川区総合庁舎		0.019	0.018	0.018	0.019	0.018	0.018	0.017	0.017	0.015	0.015
港北区総合庁舎		0.018	0.018	0.017	0.018	0.018	0.017	0.016	0.015	0.014	0.014
中区加曽台		0.019	0.017	0.018	0.018	0.018	0.018	0.017	0.017	-	-
磯子区総合庁舎		0.019	0.018	0.018	0.017	0.018	0.018	0.017	0.017	0.016	0.016
保土ヶ谷区桜丘高校		0.017	0.016	0.016	0.016	0.016	0.016	0.014	0.014	0.013	0.012
西区平沼小学校		0.021	0.018	0.018	0.019	0.018	0.018	0.017	0.017	0.016	0.015
金沢区長浜		0.015	0.013	0.013	0.013	0.014	0.013	0.014	0.013	0.013	0.012
鶴見区生麦小学校		0.015	0.018	0.019	0.018	0.016	0.019	0.018	0.017	0.016	0.015
中区本牧		0.016	0.016	0.018	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016
戸塚区汲沢小学校		0.015	0.012	0.013	0.013	0.013	0.013	0.013	0.012	0.012	0.011
港南区野庭中央公園		0.016	0.013	0.014	0.015	0.014	0.013	0.013	0.013	-	0.013
旭区鶴ヶ峯小学校		0.014	0.014	0.015	0.016	0.016	0.015	0.014	0.013	0.012	0.011
瀬谷区南瀬谷小学校		0.017	0.014	0.014	0.015	0.013	0.013	0.013	0.013	0.012	0.012
南区横浜商業高校		0.019	0.017	0.017	0.017	0.017	0.017	0.016	0.015	0.014	0.015
栄区上郷小学校		0.014	0.013	0.013	0.013	0.014	0.013	0.012	0.012	0.012	0.011
緑区三保小学校		0.013	0.013	0.014	0.014	0.014	0.013	0.012	0.012	0.011	0.010
青葉区総合庁舎		0.016	0.017	0.017	0.017	0.015	0.015	0.015	0.014	0.013	0.013
都筑区総合庁舎		0.017	0.017	0.016	0.016	0.015	0.015	0.014	0.013	0.012	0.012
泉区総合庁舎		0.015	0.015	0.015	0.018	0.015	0.014	0.014	0.013	0.012	0.013
一般局平均		0.017	0.016	0.016	0.017	0.016	0.016	0.015	0.015	0.014	0.013
鶴見区下末吉小学校		0.024	0.022	0.022	0.021	0.021	0.021	0.019	0.020	0.018	0.019
西区浅間下交差点		0.028	0.027	0.026	0.025	0.026	0.024	0.024	0.023	0.021	0.021
港南中学校		0.021	0.020	0.020	0.019	0.019	0.020	0.018	0.018	0.016	0.017
戸塚区矢沢交差点		0.021	0.020	0.019	0.019	0.021	0.020	0.019	0.018	0.017	0.017
旭区都岡小学校		0.020	0.021	0.021	0.020	0.020	0.019	0.017	0.017	0.016	0.017
青葉台		0.024	0.022	0.021	0.021	0.021	0.021	0.018	0.018	0.017	0.016
資源循環都筑工場前		0.018	0.017	0.017	0.016	0.015	0.016	0.015	0.015	0.014	0.013
磯子区滝頭		0.025	0.022	0.022	0.023	0.021	0.020	0.018	0.019	0.017	0.017
自排局平均		0.023	0.021	0.021	0.021	0.021	0.020	0.019	0.019	0.017	0.017

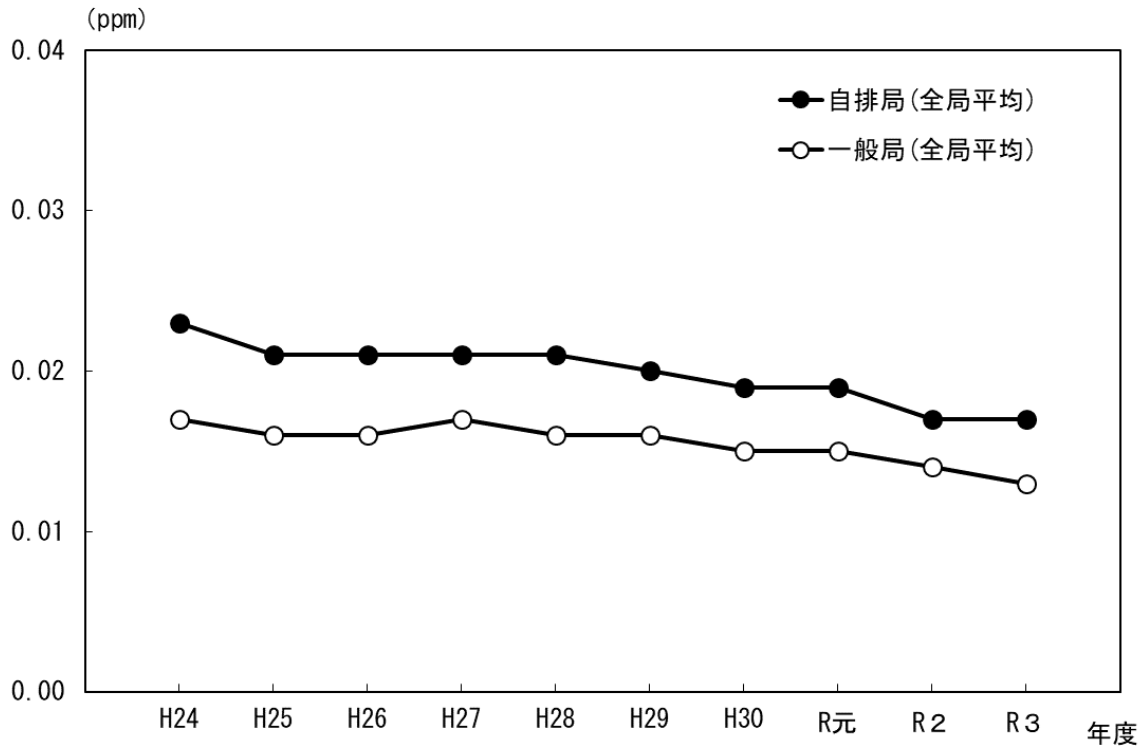


図 2 - 1 0 二酸化窒素の年平均値の経年変化

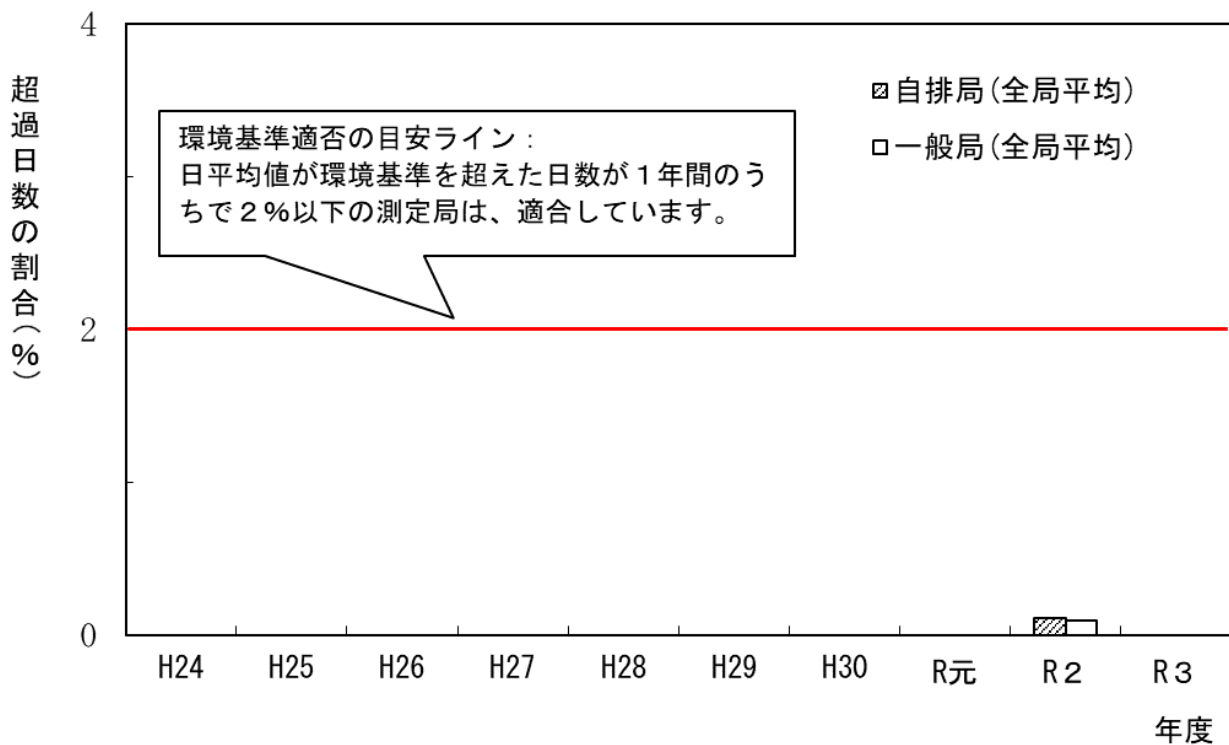


図 2 - 1 1 二酸化窒素の日平均値が環境基準値 (0.06ppm) を超えた日数の割合

(5) 光化学オキシダント(O_x)

表2-11 令和3年度 光化学オキシダントの年間測定結果（一般局）

測定局	昼間の1時間値 の年平均値	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日 数と時間数		昼間の1時間値が 0.12ppm以上の日 数と時間数		昼間の1時間値 の最高値	環境基準の 適否
	(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(ppm)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	0.030	49	185	1	1	0.128	×
神奈川区総合庁舎	0.030	51	216	1	3	0.129	×
港北区総合庁舎	0.032	57	236	3	7	0.142	×
磯子区総合庁舎	0.030	36	143	0	0	0.111	×
保土ヶ谷区桜丘高校	0.031	51	226	1	3	0.129	×
西区平沼小学校	0.031	48	193	1	3	0.135	×
金沢区長浜	0.031	52	215	0	0	0.119	×
鶴見区生麦小学校	0.031	49	178	1	3	0.137	×
中区本牧	0.030	41	161	1	1	0.122	×
戸塚区汲沢小学校	0.035	75	390	2	3	0.138	×
港南区野庭中央公園	0.033	61	290	1	2	0.125	×
旭区鶴ヶ峯小学校	0.034	64	291	1	3	0.130	×
瀬谷区南瀬谷小学校	0.032	53	210	0	0	0.116	×
南区横浜商業高校	0.032	54	256	1	3	0.140	×
栄区上郷小学校	0.035	72	358	1	2	0.127	×
緑区三保小学校	0.032	67	285	1	2	0.126	×
青葉区総合庁舎	0.032	70	312	2	4	0.134	×
都筑区総合庁舎	0.034	74	346	3	7	0.151	×
泉区総合庁舎	0.033	63	296	1	1	0.130	×
一般局平均	0.032	—	—	—	—	—	—

表 2-12 令和3年度 光化学スモッグ注意報の発令状況

発令回数	発令日	措置種類	発令時刻	光化学オキシダント濃度の市内最高値			市内届出被害者数	神奈川県内の他地域の発令状況
				最高値	測定局	時刻		
1	6月8日(火)	注意報	13:20~16:20	0.148ppm	都筑区総合庁舎	14時	0名	川崎、相模原
2	7月7日(水)	注意報	15:20~17:30	0.124ppm	港北区総合庁舎 都筑区総合庁舎	16時	1名	川崎、横須賀
3	8月26日(木)	注意報	13:20~17:30	0.151ppm	都筑区総合庁舎	14時	1名	川崎、横須賀
4	8月27日(水)	注意報	16:20~17:20	0.138ppm	戸塚区汲沢小学校	16時	0名	相模原、湘南、西湘、県央

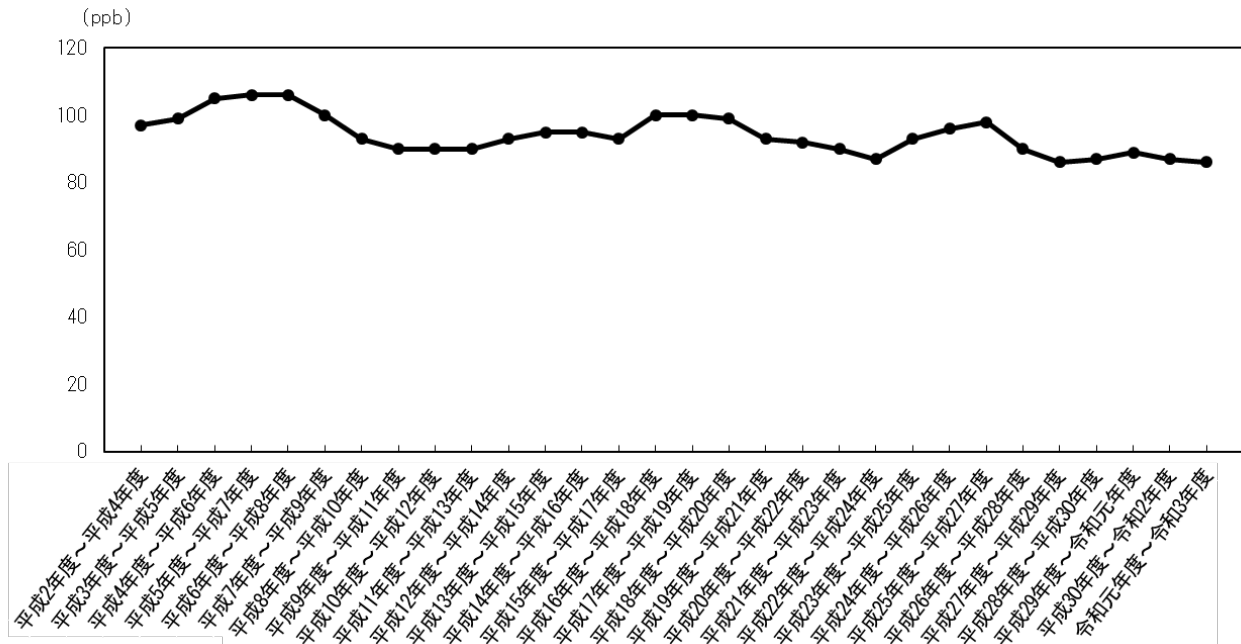


図 2-12 光化学オキシダント濃度の日最高8時間値の年間99パーセンタイル値の3年移動平均値 (全測定局)

(6) 微小粒子状物質(PM2.5)

表2-13 令和3年度 微小粒子状物質の年間測定結果（一般局・自排局）

測定局	日平均値の 年平均値	日平均値の 年間98%値	日平均値が $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数とその割合		環境基準 の適否
	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	($\mu\text{g}/\text{m}^3$)	(日)	(%)	(適○ 否×)
鶴見区潮田交流プラザ	9.2	21.2	0	0.0	○
神奈川区総合庁舎	9.4	21.8	0	0.0	○
港北区総合庁舎	9.4	20.4	0	0.0	○
磯子区総合庁舎	8.6	21.8	0	0.0	○
保土ヶ谷区桜丘高校	7.9	18.8	0	0.0	○
西区平沼小学校	8.5	19.9	0	0.0	○
金沢区長浜	6.9	17.0	0	0.0	○
中区本牧	7.4	17.3	0	0.0	○
港南区野庭中央公園	6.7	16.0	0	0.0	○
旭区鶴ヶ峯小学校	7.3	16.3	0	0.0	○
瀬谷区南瀬谷小学校	9.8	22.0	0	0.0	○
南区横浜商業高校	7.5	16.5	0	0.0	○
栄区上郷小学校	5.8	15.1	0	0.0	○
緑区三保小学校	5.7	15.5	0	0.0	○
青葉区総合庁舎	8.5	19.7	0	0.0	○
都筑区総合庁舎	8.1	17.9	0	0.0	○
泉区総合庁舎	9.1	23.1	0	0.0	○
一般局平均	8.0	18.8	—	—	—
西区浅間下交差点	10.9	23.6	0	0.0	○
戸塚区矢沢交差点	10.0	21.8	0	0.0	○
青葉台	10.9	24.7	0	0.0	○
自排局平均	10.6	23.4	—	—	—

3 有害大気汚染物質及びダイオキシン類の測定結果

表 2-14 令和3年度 環境基準が設定されている4物質の測定結果

属性	測定局	測定項目			
		ベンゼン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	トリクロロエチレン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	テトラクロロエチレン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	ジクロロメタン $\mu\text{g}/\text{m}^3$
固定発生源	鶴見区潮田交流プラザ	0.72	0.46	0.15	1.5
固定発生源	中区本牧	0.84	0.34	0.093	0.88
沿道	戸塚区矢沢交差点	0.73	0.25	0.10	1.2

表 2-15 令和3年度 指針値が設定されている11物質の測定結果

属性	測定局	測定項目										
		アクリロニトリル $\mu\text{g}/\text{m}^3$	塩化ビニルモノマー $\mu\text{g}/\text{m}^3$	クロホルム $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1,2-ジクロロエタン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	水銀及びその化合物 ng/m^3	ニッケル化合物 ng/m^3	1,3-ブタジエン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	ヒ素及びその化合物 ng/m^3	マンガン及びその化合物 ng/m^3	塩化メチル $\mu\text{g}/\text{m}^3$	アセトアルデヒド $\mu\text{g}/\text{m}^3$
固定発生源	鶴見区潮田交流プラザ	0.096	0.052	0.19	0.097	2.1	3.9	0.19	0.59	19	1.2	2.2
固定発生源	中区本牧	0.064	0.040	0.17	0.10	1.9	2.4	0.053	0.51	18	1.2	4.5
沿道	戸塚区矢沢交差点	0.031	0.026	0.16	0.12	2.1	1.6	0.079	0.49	14	1.1	1.7

表 2-16 令和3年度 その他8物質の測定結果

属性	測定局	測定項目							
		クロム及びその化合物 ng/m^3	酸化エチレン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	ベリリウム及びその化合物 ng/m^3	ベンゾ(a)ピレン ng/m^3	ホルムアルデヒド $\mu\text{g}/\text{m}^3$	四塩化炭素 $\mu\text{g}/\text{m}^3$	1,2-ジクロロプロパン $\mu\text{g}/\text{m}^3$	トルエン $\mu\text{g}/\text{m}^3$
固定発生源	鶴見区潮田交流プラザ	7.0	0.088	0.0091	0.12	2.8	0.41	0.037	4.9
固定発生源	中区本牧	4.7	0.056	0.010	0.13	3.5	0.41	0.038	4.2
沿道	戸塚区矢沢交差点	3.9	0.053	0.010	0.14	2.0	0.41	0.037	4.6

μg : マイクログラム。1マイクログラムは、100万分の1グラム。

ng : ナノグラム。1ナノグラムは、10億分の1グラム。

指針値 : 環境基準に準じて国が設定した値

表 2-17 令和3年度 ダイオキシン類の測定結果

測定局	毒性等量 : $\text{pg-TEQ}/\text{m}^3$		
	令和3年8月19日 ~8月26日	令和4年1月20日 ~1月27日	年平均
鶴見区生麦小学校	0.0082	0.013	0.011
西区平沼小学校	0.0074	0.018	0.013
戸塚区汲沢小学校	0.0057	0.037	0.021
瀬谷区南瀬谷小学校	0.011	0.022	0.016
栄区上郷小学校	0.0051	0.033	0.019
青葉区総合庁舎	0.0089	0.016	0.012

4 大気汚染に関する環境基準等

表 2-18 大気汚染に関する環境基準及び評価方法

物質名	環境基準	評価方法
二酸化硫黄	日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	長期的評価 ^{※1}
一酸化炭素	日平均値が10ppm以下であり、かつ、8時間平均値が20ppm以下であること。	長期的評価 ^{※1}
浮遊粒子状物質	日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。	長期的評価 ^{※1}
二酸化窒素	日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、又はそれ以下であること。	98%値評価 ^{※2}
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	昼間 ^{※3}
微小粒子状物質	年平均値が15μg/m ³ 以下であり、かつ、日平均値が35μg/m ³ 以下であること。	年平均値の評価及び98%値評価の併用 ^{※4}

※1： 年間の日平均値のうち、高いほうから2%の範囲にあるものを除外した後の最高値（2%除外値）を環境基準と比較して評価する。ただし、環境基準を超える日が2日以上連続した場合は、不適合と評価する。

※2： 年間の日平均値のうち、低いほうから98%に相当するもの（日平均値の年間98%値）を環境基準と比較して評価する。

※3： 5時～20時の測定値を対象とする。

※4： 年平均値が長期基準である15μg/m³以下であり、かつ、日平均値の年間98%値が短期基準である35μg/m³以下である場合に、適合と評価する。

表 2-19 有害大気汚染物質に関する環境基準・指針値

物質名	環境基準	物質名	指針値
ベンゼン	3μg/m ³	アクリロニトリル	2μg/m ³
トリクロロエチレン	130μg/m ³	塩化ビニルモノマー	10μg/m ³
テトラクロロエチレン	200μg/m ³	クロロホルム	18μg/m ³
ジクロロメタン	150μg/m ³	1,2-ジクロロエタン	1.6μg/m ³
年平均値が各環境基準値・指針値以下であること。		水銀及びその化合物	40ng/m ³
		ニッケル化合物	25ng/m ³
		1,3-ブタジエン	2.5μg/m ³
		ヒ素及びその化合物	6ng/m ³
		マンガン及びその化合物	0.14μg/m ³
		塩化メチル	94μg/m ³
		アセトアルデヒド	120μg/m ³

表 2-20 ダイオキシン類（大気）の環境基準

基準値
0.6pg-TEQ/m ³ 以下

- ※1 基準値は2, 3, 7, 8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算した値とする。
- ※2 大気の基準値は、年平均値とする。

横浜市大気汚染調査報告書

第 6 2 報
令和 5 年 3 月 発行

編集 横浜市環境創造局環境保全部
環境管理課 監視センター

〒231-0005 横浜市中区本町 6-50-10

TEL 045 (671) 3507

FAX 045 (641) 3580